

景観は、何からできている？

■まずは町の景観を見てみよう！

景観計画策定委員会では、町の景観について考える材料として「まずは町の景観を見てみよう！」ということで、町内の景観を見て回るバスツアーを行いました。

ひと口に景観といっても、町並み、看板、天竜川、公園、田んぼ、史跡、建物、地形など景観を形作る個々の要素が集合してできていることや、「どこから見るのか」によって同じものでも見え方が違うこと、「好ましい景色」と感じるには、対象が「見やすい状況」にあることが大切であることなど、実際の景色を題材にしなが、景観の見方について学びました。



山並が見やすい状況にあることを確認する委員（長岡）



河岸段丘の上にあるため眺望の素晴らしい番場第一グラウンド駐車場

■河岸段丘の上からの眺め

河岸段丘の上であり、見晴らしのいい番場第一グラウンド西側駐車場からの景色です。アンケートでも良いという意見が多かった場所ですが、委員から「河岸段丘は町中にあるのに、ここが取り上げられる理由はなんだろう？」という話があり、そこから「良い景観は『見やすい場所』として整備するだけでなく、『アクセスしやすい』ことも大事だ」という意見が出されました。

■福与公民館駐車場

福与公民館西側の駐車場からは、町内を一望できます。遠景の山も素晴らしいのですが、それを引き立てているのが足元の農地です。急勾配の斜面を切り開いて田んぼが作られ、高低差のある畦が草刈りなどできれいに手入れされていることで、この風景が作り出されていることが分かります。



急勾配の斜面に作られた田んぼ。丁寧に草が刈られている

■下古田の展望台

下古田の展望台は、信州みのわ花街道推進協議会のメンバーを中心に整備され、植栽された花や植物にはメンバーがタンクに水を汲んで水やりをしているそうです。歩道に敷きつめられたチップは剪定枝を破砕して作っています。活動を始めてから10年ということで、風景を作り上げるには時間がかかるということもわかりました。



南アルプスだけでなく、中央アルプスも美しく見えるビューポイント

ツアーを終えた委員からは、「町内なのに初めて来た場所が多い」「こんなに良いところがあるなんて、知らなかった」という声が多く聞かれました。また、風景を見たときに「この風景はなぜ心地良いと感じるのか、どう維持されているのか、誰が作っているのか」ということを考えるようになり、それによって目の前の景観がどう成り立っているのか、どんな営みの結果できたのかなど「景観が何からできているか」が見えてくる、という意見も頂きました。

次回の委員会ではこれらの結果を踏まえて、町の目指す景観の姿を話し合います。

ご意見をお寄せください

問合せ先

建設水道課

建設管理係

☎79-3111（内線114）